

科目	
2011 年度カリキュラム	フィールド・スタディ
2017 年度カリキュラム	APS フィールド・スタディ
申請可能セメスター	2-7 セメスター *詳細は募集要項をご覧ください。
プログラム名	Past and Present of Kitakyushu; The First Asian Green Growth City (銭 学鵬)

1. プログラム名	Past and Present of Kitakyushu; The First Asian Green Growth City
2. 担当教員	銭 学鵬
3. 実習地	福岡県北九州市, 日本
4. 開講年度	2019 年度
5. 開講時期	秋セメスター ※ただし、実習は夏セッション期間中に終了します。
6. 開講言語	・日本語/英語 [実習で使用する場合があります] ・日本語/英語
7. 単位数	2 - セメスターの登録可能単位数の上限に含まれません。
8. プログラム概要	<p>事前授業(7月3日、17日)</p> <p>導入として、プログラムの詳細について紹介し、受講生をグループ分けし、北九州へのフィールドトリップの前に、選定されたトピックに関するリサーチ、リサーチ・ディスカッション、準備を行わせる。</p> <p>実習(8月6日～9日)</p> <p>北九州での現地実習</p> <p>事後授業(10月16日)</p> <p>グループプレゼン最終講義、振り返り及びまとめのセッション</p>
9. プログラムのねらい	<p>本プログラムは社会におけるイノベーションの普及と受容について関心がある APS 学生のための講義である。国際関係(IRPS)、環境・開発(ED)、観光学(TH)、文化・社会・メディア(CSM)という4つの APS 学修分野のケースを異なる社会的技術的視点からケースを検討する。</p> <p>本プログラムは福岡県北九州市の優れた実践を経験し探求したい学生のために開講される。OECD は4つの都市をグリーン成長都市に選定したが、北九州市はその一つとなった。北九州でのフィールドスタディで政策、戦略、文化、価値、日本の概念に触れ、学ぶ機会を持つことで、知識を深めスキルを得ることができ、受講者が持続可能なコミュニティを作る土台となる実践的方策を見出せる。</p> <p>本プログラムは次の事項に焦点を合わせる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 北九州市が地域の創生し、都市分散化のモデルになり、OECD に最初のグリーン成長都市に選定されるに至った戦略を紹介する。</li> </ol>

科目	
2011 年度カリキュラム	フィールド・スタディ
2017 年度カリキュラム	APS フィールド・スタディ
申請可能セメスター	2-7 セメスター *詳細は募集要項をご覧ください。
プログラム名	Past and Present of Kitakyushu; The First Asian Green Growth City (銭 学鵬)

	<p>2. モデル都市としての北九州の進化を実感し他の地域や国と比較する。</p> <p>3. 北九州プロジェクトへの市民の強い関わりを探り、分析する。</p> <p>4. 受講者がコミュニティの視点から最適なモデル都市について学び、特定の問題を解決するための実際的な提言を行う機会を提供する。</p>												
10. 参加費 (目安)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交通費(航空券・陸路)</td> <td>¥20,000</td> </tr> <tr> <td>宿泊費</td> <td>¥12,000</td> </tr> <tr> <td>現地交通費</td> <td>¥2,000</td> </tr> <tr> <td>入館料・入場料</td> <td>¥2,000</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>¥36,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>[上記に含まれないもの]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 食費</li> <li>➤ VISA 取得費用(必要な場合)</li> <li>➤ 海外旅行保険、J-TAS 費用</li> <li>➤ 日本国内交通費</li> <li>➤ 予防接種費(希望者のみ)</li> </ul>	項目	金額	交通費(航空券・陸路)	¥20,000	宿泊費	¥12,000	現地交通費	¥2,000	入館料・入場料	¥2,000	合計	¥36,000
項目	金額												
交通費(航空券・陸路)	¥20,000												
宿泊費	¥12,000												
現地交通費	¥2,000												
入館料・入場料	¥2,000												
合計	¥36,000												
11. 履修の目安	グループワークに積極的に参加する受講者を想定しているため、相当な英語及びコミュニケーションスキルがあることが望ましい。												
12. 到達目標	<p>受講者は北九州の優れた実践から下記のことを学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-市民の関与の役割</li> <li>- 市民参加におけるメディアと教育の重要性</li> <li>- 北九州の業績を語る上での国際企業のインパクト</li> <li>- 効果的なガバナンスの役割</li> </ul>												
13. 授業方法	<p>(1) APU 教員及び実務に携わる北九州市職員による事前・事後授業</p> <p>(2)北九州の優れた実践へのフィールド訪問／見学</p> <p>(3) グループワークとディスカッション</p> <p>(4) グループ発表</p> <p>(5) 最終レポート</p> <p>[多文化協働学修に関する環境と手法]</p> <p>第 1 回目の授業で、3～4人のグループを作り、北九州へのフィールドトリップの前に選定したトピックに関する調査をし準備を行う。フィールドトリップの間、ディスカッションに参加し、フィールドトリップの終わりにグループ発表をし、レポートを作成する。</p>												

科目	
2011 年度カリキュラム	フィールド・スタディ
2017 年度カリキュラム	APS フィールド・スタディ
申請可能Semester	2-7 Semester *詳細は募集要項をご覧ください。
プログラム名	Past and Present of Kitakyushu; The First Asian Green Growth City (銭 学鵬)

14. スケジュール	[事前授業]		
	日付	時限	内容
	7月3日(水)	5限 6限	APU 教員による導入講義と研究計画に関するワークショップ フィールドスタディプログラムの詳細を説明し、受講者をグループ分けする。北九州へのフィールドトリップの事前準備として、グループで選定したトピックに関する調査をし、ディスカッションを行う。
	7月17日(水)	6限	研究計画の発表
	[現地での実習]		
	日付	内容	
	8月6日(火)	大分製紙 門司港(自由見学)	
	8月7日(水)	JICA 職員による講義 環境ミュージアム訪問 日本初の製鉄所である東田第一高炉跡見学(自由見学)	
	8月8日(木)	北九州市環境局による特別講座 TOTOミュージアム見学 リバーウォーク北九州(自由見学) 水博物館(自由見学) 旦過市場見学(自由見学)	
	8月9日(金)	北九州エコタウンセンター訪問 北九州次世代エネルギーパーク訪問	
15. 成績評価方法	[事後授業]		
	日付	時限	内容
	10月16日(水)	5限 6限	受講者による最終発表 APU 教員による最終講義、振り返り、まとめセッション
	(訪問先の都合により変更される場合があります。)		
	事前授業、フィールド活動、ディスカッションと発表、及び最終レポートによって評価を行う。		
	フィールド活動及び講義への積極的参加、時間厳守 : 40%		
	グループ発表 : 30%		
	最終レポート: 30%		

科目	
2011 年度カリキュラム	フィールド・スタディ
2017 年度カリキュラム	APS フィールド・スタディ
申請可能セメスター	2-7 セメスター *詳細は募集要項をご覧ください。
プログラム名	Past and Present of Kitakyushu; The First Asian Green Growth City (銭 学鵬)

16. 学生への要望事項	本プログラムはグループワーク及びピア・ラーニングを前提に設計されているため、受講生は時間を守り、事前活動、フィールド見学、事後活動を含むすべての活動に積極的に参加することが求められる。欠席、遅刻はグループ活動の妨げになる。
17. 教科書	-
18. 参考文献	OECD Green Growth Studies; Green Growth in Kitakyushu, Japan Kitakyushu Model; Kitakyushu Story <a href="http://www.asiangreencamp.net/pdf/kitakyushu-model/kitakyushu_story.pdf">http://www.asiangreencamp.net/pdf/kitakyushu-model/kitakyushu_story.pdf</a> Digging Deeper. How Purpose-Driven Enterprises Create Real Value. 2016. D. Sternad, J.J. Kennelly, F. Bradley. Greenleaf Publishing Limited
19. 上記以外	受講決定後、各受講生に連絡する。
20. その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>募集人数: 15</li> <li>最少実施人数: 5</li> <li>派遣地域安全情報: レベル 0</li> </ul>